



12月27日 令和3年度行政相談委員総務大臣表彰  
住民に寄り添った活動が評価



14年8カ月の長きにわたり行政相談委員を務めた森上幸久さん(坂本町)が行政相談委員総務大臣表彰を受賞し、伝達式が市役所鏡支所で行われました。森上さんは令和2年7月豪雨災害後、特別行政相談窓口を開所するなど市民の声に耳を傾け、現在は仮設住宅に特別相談所を開設しています。

1月6日 香港向け晩白柚の出発式  
香港で贈答用として人気



香港向け晩白柚の出発式がJAやつしろ八代果実選果場で行われ、関係者ら約40人が出席しました。本市では熊本県やつしろ晩白柚ブランド推進協議会、氷川町とともに旧正月に合わせて、イオンストアアーズ香港の12店舗で販売する八代産の晩白柚を輸出しており、今年で8回目です。

1月9日 八代市成人式  
新成人1030人を祝福



八代市成人式が八代トヨオカ地建アリーナで開催され、新成人1030人(男506人、女524人)の新たな門出を祝いました。今年は新型コロナウイルス感染症に配慮し、イベントは行われませんでした。新成人らが旧友との再会を喜んだり、写真を撮ったりする姿がみられました。

12月23日 地域防災力向上に関する協定締結  
防災力の向上により被害を未然に防ぐ



損害保険ジャパン株式会社と損保ジャパンパートナーズ株式会社、本市の3者で地域防災力の向上に関する協定を締結しました。

本協定により、市民向けの防災イベントや自主防災組織リーダーの育成講座の実施などに連携して取り組みます。

1月5日 初心者向け出張スマホ講座  
スマートシティへの第一歩



スマートシティやつしろの実現に向け、住民自治協議会を対象にした初心者向け出張スマホ講座が八代コミュニティーセンターで行われました。

これは、スマートフォンを利用したことがない人などへのサポート事業として市と携帯電話事業者が連携して初めて企画したものです。

1月9日 八代子ども科学フェア  
ものづくり産業を担う人材に



第25回八代子ども科学フェアが桜十字ホールやつしろで行われ、親子連れなど約750人が来場しました。これは、遊びをとおして科学や理科に興味を持ってもらうことを目的に毎年開催されているもので、参加した子どもたちは真剣な表情で工作や体験に取り組みました。

12月14日 八代広域行政事務組合消防表彰  
迅速かつ適切な救命活動で人命救助



郡築十番町で発生した水難事故で人命救助を行った大脇武敏さん(古閑浜町)、中村太貴さん(北の丸町)に感謝状が贈られました。

2人の迅速かつ適切な救助活動により、救助された人は大事には至らず回復に向かっているとのことです。

12月14日 日本マイクロバイオファーマと立地協定  
八代工場を増設



日本マイクロバイオファーマ株式会社と本市が立地協定を結び、県庁で調印式が行われました。

同社は抗がん剤原薬の製法改良に伴う設備導入や商品の需要増に備えた増設などを計画しています。投資額は約34億円で、本市から新たに2人が雇用される予定です。

12月22日 全国高専デザコンで日本一  
新しい草農家の形を提案



第18回全国高専デザインコンペティションの空間デザイン部門で最優秀賞を受賞した熊本高専八代キャンパスの生徒ら4人が、中村博生市長に結果を報告しました。昼文化やイ草農家の減少の解決に着目した同校の作品は、地域の細かい調査やプレゼンテーションの表現などが高く評価されました。

12月13日 山中産業からの寄付金  
い産業の発展のために



山中産業株式会社の重松秀樹代表取締役ら2人が市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長と藤本一臣氷川町長に寄付金を贈呈しました。今年で3年連続の寄付で、昨年は渋谷駅での大型広告やゲームソフト「あつまれどうぶつ森」の活用など、八代産量表のPRに使われました。

12月14日 八代亜紀さんが市民球場仮設団地を慰問  
歌でエールを届ける



歌手の八代亜紀さんが市民球場仮設団地でミニコンサートを開き、仮設団地に住む被災者ら約70人に歌でエールを届けました。これは、令和2年7月豪雨で被災した坂本町の皆さんを元気づけたいという八代さんの強い思いで実現したもので、「舟唄」や「愛の終着駅」など3曲を熱唱しました。

12月21日 移動式宿泊施設等の提供に関する協定締結  
災害時には避難所として活用



株式会社デベロップと本市が災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定を締結し、市役所鏡支所で締結式が行われました。

この協定により、本市で災害が発生した際には、同社が市内にオープンしたコンテナホテルを被災地へ派遣し避難所として活用することができます。